

# 光一中だより

## 教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校  
校長 豊田 貴志  
令和7年度 第4号  
令和7年7月9日

## とおか 「梅雨明け十日は夏のはじまり」

校長 豊田 貴志

天気の世界では「梅雨明け十日<sup>とおか</sup>」ということわざがあります。科学的な目線で言えば、太平洋高気圧の勢力が増し、雲ができにくく晴れやすい日が続くということです。梅雨が明けたあとの10日間は一年を通して一番天気が安定している時期でもあり、暑さも一気に増すのです。その一方で「夏本番のはじまり」を告げる時期が来たという意味でもあります。

「梅雨明け十日」は、農業にとっても、スポーツにとっても、とても大事なタイミングです。植物がすくすくと育ち、それと同じよう私たち人間の身体も気候の変化に適応しようとぐんぐんと動き出す。言い換えれば、人が変わるきっかけになる時期でもあるのです。

夏休みは人が変わるには十分な時間があります。40日以上も時間に縛られず、じっくり自分と向き合うことができます。学習も、読書も、部活動も、スポーツも、家の手伝いも、友達と一緒に遊ぶのも、それこそ何でもできるのです。また自分自身を見つめ、将来について考えることもできるでしょう。「今までの自分から、一步成長した自分」に近づく絶好のチャンスなのです。

ではどんなことが大切でしょうか。それは「明確な目標」をもつことだと私は考えます。「夏休みが終わったらこんなことができている」、より具体的でより明確な目標が見えていることが大切だと考えます。学年によって取り組むべき課題は異なるでしょうが、ほんの少しだけ、未来の自分を想像してみましょう。できていなかったことができる自分を想像するとワクワクしませんか。

今年の梅雨明けは平年並みの7月21日頃と予測されています。夏のはじまりはもうすぐそこ、目の前まで来ていますよ！



夏休みは人が変わるには十分な時間

